

記

グループ名	仙台市立富沢小学校理科部					
研究テーマ	児童に気付きや疑問を持たせやすい教材の開発 — 理科の授業づくりを通して —					
分 野	授業力向上 (対象校種) 小学校 (対象教科) 理科					
研究のねらい	児童に気付きや疑問を持たせやすい教材開発の在り方について、理科の授業づくりを通して、有効性を探る。					
研究・活動の概要						
理科の授業づくりを通して、見通しを持って問題解決に取り組む児童の姿をめざした取組である。児童に問題意識を持たせるために気付きや疑問を持たせやすい教材の開発をし、その教材によって児童が目的意識のある観察・実験となっているか教材を検証した。その結果、児童は、観察、実験において目的意識を持ち、見通しを持って問題解決に取り組むことができた。						
成果と課題						
《成果》 ・現象の違いの比較によって、現象の要因が絞りやすい教材を作成し、提示したことで、児童は自ら問題を見出し、一人一人の問題とすることができた。						
《課題》 ・現象の要因が絞りやすい教材を使って、さらに提示の仕方を工夫する必要があることに気付かされた。 ・児童一人一人の解決したいという思いにあった多様な観察・実験の方法を引き出す必要性を感じた。						
構成員(4)名						
氏 名	所属・職名	氏 名	所属・職名			
(代表)鈴木 茂男	仙台市立富沢小学校・教諭	鈴木茂男 渡辺晴子 島 舜介 柿沼隆太	仙台市立富沢小学校・教諭 仙台市立富沢小学校・教諭 仙台市立富沢小学校・教諭 仙台市立富沢小学校・教諭			